

基本方針 5 豊かな心をはぐくむ環境学習

長期目標 5-1 こどもたちの環境学習をすすめます

10年後の目標

項目	現状値(H16)	10年後(H27)
こどもたちが行う環境活動 (地域版の環境活動、こどもエコクラブ ¹⁾ 、キッズISO ²⁾ など)	3団体	6団体
食育・菜園講座への参加者	—	年50人
学校・保育所への出前環境授業	—	年10回
こども環境サミットへの参加者	40人	80人
身近な生き物調査の実施	年1回	年1回
親子の環境学習や科学に親しむ教室の開催	年40件	年50件

重点 プロジェクト① こどもたちの環境活動を応援する

こどもたちが取り組みやすい地域版の環境活動や、こどもエコクラブ、キッズ ISO などを応援するしくみをつくります。たとえば、環境サポーター制度を活用して、出前環境授業ができるようにします。またこどもたちの活動の成果は一年に一度開かれる「こども環境サミット」で発表します。

プロジェクト② 食育・菜園講座を開く

市民農園や休耕田を活用し、土に親しみ、作物を育て、収穫を楽しむことを通して、環境問題を学びます。こどもだけでなく、大人も巻き込んだ家庭向けの内容です。また専門家や環境サポーターが学校のクラスなどで行われている作物づくりを環境学習の側面から支援します。

プロジェクト③ 保育所・学校のビオトープづくりや学校林づくりを支援する

落ち葉バイオマス、給食残さ堆肥化、冒険の森や生き物の住みかづくりなど、さまざまなビオトープづくりや学校林づくりを支援します。計画から維持管理に至るまでの情報を得られやすいようにしたり、PTA や地域市民、環境サポーターが環境学習や維持管理に参加できるようしくみを提案します。また教員を対象とした環境学習を行うことで、学校と協力者との連携を深めます。

¹ こどもエコクラブ：こどもたちが地域の中で主体的に、地域環境・地球環境に関する学習や活動を行う事業。環境省が支援している。

² キッズ ISO：NPO 法人 国際芸術技術協力機構（アーテック）が、日本及び世界各国に対して展開しているこども向けの環境教育のプログラム。「入門編」「初級編」「中級編」「上級編」とステップアップする内容になっている。

活動紹介

上山田発！こどもたちと学んでいます
「上山田地球クラブ」は、「おもいやりの心を地球環境にも」と、毎年応募した上山田周辺の小学4・5・6年生の児童約30人で、ごみ拾い、フリーマーケット等の環境活動や、自然観察会、エコクッキング、バス見学等の環境学習会を平成13年から年間を通して続け、環境省の「こどもエコクラブ」にも登録しています。現在、「ふれあい福祉センター上山田」の支援を受け活動をしています。



千曲市こども環境サミット



千曲市では毎年「こども環境サミット」を開催しています。環境活動を行っているこどもたちの発表の場、交流の場であり、環境問題の解決に向けたステップにもなっています。夏休みに行っている小学5年生の「身近な生き物調査」やさまざまな環境活動を通じて、大人も含めた参加者に対して説得力のある発表が行われています。

市民は

- ・ こどもたちの環境活動に協力します。
- ・ 家庭や地域で協力しながら環境学習に取り組みます。
- ・ 保育所や学校が行う環境活動に、地域のサポーターとして協力します。

学校は

- ・ ビオトープづくりや学校林づくりに積極的に取り組み、環境の専門家やサポーター制度を活用します。
- ・ こどもたちの環境学習を、市民やPTA、専門家など応援する人達と協力してすすめます。

千曲市は

- ・ こどもエコクラブやキッズISOなどの環境活動を支援します。
- ・ こどもたちが取り組みやすい地域版の環境活動を展開します。
- ・ こども環境サミットを毎年開催します。
- ・ 出前環境授業に環境の専門家やサポーターを派遣します。
- ・ 保育所、学校、地域、行政の連携体制を確立します。

基本方針 5 豊かな心をはぐくむ環境学習

長期目標 5-2 市民の環境学習をすすめます

10年後の目標

項目	現状値(H16)	10年後(H27)
市民環境センターの利用者	—	年2,000人
「もったいない」講座の参加者	—	年100人
環境サポーターの登録	—	年100人
環境サポーターの活動	—	年100回

重点 プロジェクト① 市民環境センターを開設する

市民が環境について、さまざまな形で学び、情報を得られる場をつくります。まずは千曲市の環境活動の拠点となる空間を確保します。環境図書室や会議室、学習スペース、自然観察会など幅広い要望に対応できるものを目指し、リサイクル製品の紹介、環境活動の事例紹介などの展示をします。また市内の環境情報や不要品の交換情報など集めて行動の輪を広げます。

重点 プロジェクト② 「もったいない」講座を開く

私たちの毎日の生活は環境にどんな影響を与えているのでしょうか？「環境にやさしい生活」ってどうすればいいのでしょうか？日常生活において実感できる省エネ、エコクッキング¹、修理方法など、「もったいない」を学ぶ講座を開き、環境に配慮した行動につなげていきます。また、おばあちゃんの知恵袋、伝統食づくり、炭焼きなど、昔の暮らしや自然との関わりを知って、体験することによって、環境にやさしい暮らしの知恵を学びます。更に、区・自治会などで出張ワークショップを開いたりして、できるだけ多くの市民が参加できる内容を目指します。

プロジェクト③ 環境学習のサポーターを育て、派遣制度をつくる

環境に対する専門的知識と行動力をもった市民を育て、各講座や学校、事業所、公民館での環境学習を指導・支援します。さまざまな環境に関する資格をもつ方や、古き良き時代の環境に配慮した暮らしを知る方に登録していただき、市民が活用しやすいしくみをつくれます。

重点 プロジェクト④ 環境施設見学会を実施する

市内や近隣のごみ処理施設、生ごみ処理施設、し尿処理施設、リサイクル施設及び環境に配慮した事業所などの環境施設見学会を行います。

¹ エコクッキング：食材の購入時の選択から、調理時に出るごみや使うエネルギー・水の量をなるべく減らしたり効率よく使う方法、あまった食材の保存や活用方法、排水や廃棄屑の処理と活用、食べ残しについてなど、さまざまな段階で環境への配慮を行いながら料理すること。



市民は

- ・ 市民環境センターを利用するとともに、講座や環境施設見学へ積極的に参加し、環境学習を深めます。
- ・ 環境について学び、日常生活の中で環境に配慮した暮らしを実践します。
- ・ 市民環境センターの運営に参加します。
- ・ 環境サポーターとして、環境学習に協力します。

事業者は

- ・ 市民環境センターの講座や環境施設見学に対して、講師派遣、施設見学受け入れ、学習資料の提供などを通じて協力します。
- ・ 従業員の環境学習に努めます。
- ・ 市民環境センターの運営に参加します。

千曲市は

- ・ 市民環境センターをつくり、市民と協働して、市民が活用しやすいような環境を整えます。
- ・ 市民環境センターの運営に参加します。
- ・ 環境について学ぶ講座や環境施設見学会を実施し、環境に対する理解や意識の高い市民を育てます。
- ・ 市民が活用しやすい、環境の専門家やサポーターの登録制度をつくります。